

どの講座を受講する場合もレベル認定等の試験は不要です。

## マスター講座



講座名	難易度	授業時間	講師名
国公立+私大記述対策現代文※	標準-応用	80分	長島 康二
文系MARCH+私大対策現代文	標準-応用	80分	長島 康二
共通テスト&私大対策現代文	基礎-標準	80分	長島 康二
国立大・都立大・早大への文系古文	標準-応用	80分	小村 洋
基本からの古文読解	基礎-標準	80分	岡野 大
共通テスト対策漢文※	基礎-標準	80分	小手川 司
早慶対策ハイレベル小論文※	発展	80分	小手川 司

※「国公立+私大記述対策現代文」、「共通テスト対策漢文」、「早慶対策ハイレベル小論文」は前期第Ⅱターム(4月~)から開講します。

## トレーニング講座



講座名	難易度	授業時間	講師名
古文単語トレーニング	基礎-標準	80分	岡野 大
古文文法トレーニング	基礎-標準	80分	岡野 大

# 国立大+私大記述対策現代文



講座難易度



講座紹介

前期						夏期講習
第Ⅰターム		第Ⅱターム		第Ⅲターム		
2月	3月	4月	5月	6月	7月	
実施なし						
後期						冬期講習
第Ⅰターム		第Ⅱターム		第Ⅲターム		
9月	10月	11月	12月	1月		

※講座進度は予定です。受講者に合わせて授業を行うため変更する場合があります。

# 文系MARCH+私大対策現代文



講座難易度



講座紹介

過去問の演習→解説の流れで授業をすすめていく。扱う過去問は、GMARCHのもの。入試頻出の解法を用いて解説を展開する。偏差値を伸ばす一番の方法は講師の真似をすることにある。板書をしっかりとって復習し、担当講師の方法論を使いこなせるようになる。

前期						夏期講習
第Ⅰターム		第Ⅱターム		第Ⅲターム		
2月	3月	4月	5月	6月	7月	
易しめの問題を題材に、基本的な解き方を修得する。		記述も織り交ぜながら、修得した解き方のアウトプットをしていく。		MARCHの過去問の中から対処しやすいものを選び、演習と解説を繰り返す。		
後期						冬期講習
第Ⅰターム		第Ⅱターム		第Ⅲターム		
9月	10月	11月	12月	1月		
MARCHの過去問の中から、標準的な難易度のものを選び、演習と解説を繰り返す。		引き続き、標準的な難易度の入試問題を題材に演習と解説を繰り返す。		直近の入試問題の中から受講者のレベルに合ったものを題材にして、実践力を養う。		

※講座進度は予定です。受講者に合わせて授業を行うため変更する場合があります。

# 共通テスト & 私大対策現代文



講座難易度



講座紹介

入試現代文には普遍的な解法がある。まずはその解法を知ろう。そのうえで使いこなす訓練を積んでいけば、現代文の点数は伸びていく。この講座では講師自身が上記の解法で、問題を解き、その様子を紹介していく。それをみて解法を習得していこう。

前期						
第Ⅰターム		第Ⅱターム		第Ⅲターム		夏期講習
2月	3月	4月	5月	6月	7月	
易しめの問題を題材に、基本的な解き方を修得する。		引き続き、易しめの問題を題材に解き方のインプットを目指す。		記述も織り交ぜながら修得した解き方のアウトプットをしていく。		
後期						
第Ⅰターム		第Ⅱターム		冬期講習	第Ⅲターム	
9月	10月	11月	12月		1月	
標準的な難易度の入試問題を題材に演習と解説を繰り返す。		引き続き、標準的な難易度の入試問題を題材に演習と解説を繰り返す。			直近の入試問題の中から受講者のレベルに合ったものを題材にして、実践力を養う。	

※講座進度は予定です。受講者に合わせて授業を行うため変更する場合があります。

# 国立大・都立大・早大への文系古文



講座難易度



講座紹介

①単語、②文法、③文学史、④古文常識という古文学習の柱に留意しつつ、国立大、都立大、早稲田大学等の難関大を目指す生徒を対象とした古文読解の授業を行う。最低でも中央大に合格できる力をつける。  
 ①と②に関しては、正確な品詞分解を前提とした的確な訳出力を養成する。③と④に関しては、素材となった文章の政治的・経済的・文化的背景にも留意しつつ授業を進める。  
 通年テキストは、伊勢物語・蜻蛉日記・枕草子・源氏物語・大鏡・今昔物語集・無名草子・平家物語・宇治拾遺物語・徒然草・更級紀行・玉勝間といった重要な作品を全て網羅しており、この一冊をきちんとマスターすれば入試には必要かつ充分である。

前期						
第Ⅰターム		第Ⅱターム		第Ⅲターム		夏期講習
2月	3月	4月	5月	6月	7月	
◇単元名 江戸時代の文章の検討 (更級紀行、玉勝間など) ※文法に留意しつつ、名文を丁寧に読み進めます		◇単元名 平安時代の文章の検討Ⅰ (伊勢物語、枕草子など) ※授業の最初に単語テストを実施します		◇単元名 平安時代の文章の検討Ⅱ (源氏物語、更級日記など) ※授業の最初に単語テストを実施します		
後期						
第Ⅰターム		第Ⅱターム		冬期講習	第Ⅲターム	
9月	10月	11月	12月		1月	
◇単元名 平安時代の文章の検討Ⅲ (大鏡、今昔物語集など) ※授業の最初に単語テストを実施します		◇単元名 鎌倉時代の文章の検討Ⅰ (無名草子、宇治拾遺物語など) ※授業の最初に単語テストを実施します			◇単元名 鎌倉時代の文章の検討Ⅱ (平家物語、徒然草など) ※授業の最初に単語テストを実施します	

※講座進度は予定です。受講者に合わせて授業を行うため変更する場合があります。

# 基本からの古文読解



講座難易度



講座紹介

「なんとなく」を排し、精密な読解・解答作成能力の養成を図る。古典文法の演習を進めつつ、平易な長文を読み進めることで解答作成に必要な知識・読解力をつけていく。

前期						
第Ⅰターム		第Ⅱターム		第Ⅲターム		夏期講習
2月	3月	4月	5月	6月	7月	
古文入門		用言、助動詞		助動詞、敬語		
後期						
第Ⅰターム		第Ⅱターム		冬期講習	第Ⅲターム	
9月	10月	11月	12月		1月	
過去問演習		過去問演習			過去問演習	

※講座進度は予定です。受講者に合わせて授業を行うため変更する場合があります。

# 共通テスト対策漢文



講座難易度



講座紹介

「漢文を共通テスト攻略の武器にする」講座。共通テストで高得点を狙うには漢文の早期実力養成が欠かせない。英語の文法に相当する句法は数も少なく、効率的な学習により、共通テストで9割以上の得点力獲得を目指すことも可能である。句法の整理・確認後、読解中心に解説を行う。

前期						
第Ⅰターム		第Ⅱターム		第Ⅲターム		夏期講習
2月	3月	4月	5月	6月	7月	
実施なし		記述も織り交ぜながら、修得した解き方のアウトプットをしていく。		MARCHの過去問の中から対処しやすいものを選び、演習と解説を繰り返す。		
後期						
第Ⅰターム		第Ⅱターム		冬期講習	第Ⅲターム	
9月	10月	11月	12月		1月	
MARCHの過去問の中から、標準的な難易度のものを選び、演習と解説を繰り返す。		引き続き、標準的な難易度の入試問題を題材に演習と解説を繰り返す。			実施なし	

※講座進度は予定です。受講者に合わせて授業を行うため変更する場合があります。

# 早慶対策ハイレベル小論文



講座難易度



講座紹介

早慶受験者、私大・国公立大一般受験で小論文を必要とする受験者が主な対象。小論文は小「論文」であり、定型的な書き方をマスターすれば、論旨明快な論文をだれにでも書けるようになる。元新聞記者で社会人への小論文指導の経験もある講師が、「目からうろこが落ちる」書き方をあなたに伝えます。

前期						
第Ⅰターム		第Ⅱターム		第Ⅲターム		夏期講習
2月	3月	4月	5月	6月	7月	
実施なし		小論文の書き方 出題パターン別論述演習		小論文の書き方 出題パターン別論述演習		
後期						
第Ⅰターム		第Ⅱターム		冬期講習	第Ⅲターム	
9月	10月	11月	12月		1月	
課題文を読み、要約+意見文		各自志望校の過去問による個別指導			各自志望校の過去問による個別指導	

※講座進度は予定です。受講者に合わせて授業を行うため変更する場合があります。

# 古文単語トレーニング



講座難易度



講座紹介

各回10語程度、重要古文単語を紹介していく。もちろん定着をはかるためにテストも行う。さらには古文の知識(①文学史、②古典常識、③和歌)を整理、適宜長文を取り扱うことで確認していく。古文は現代人とは全く異なる人生観・宗教観・恋愛観をもった作者が執筆し、登場人物が活躍する作品であり、現代人の価値観で理解しようとすれば誤読を招いてしまう。

前期						
第Ⅰターム		第Ⅱターム		第Ⅲターム		夏期講習
2月	3月	4月	5月	6月	7月	
文学史① 説話・歴史物語・作り物語		古典常識① 説話・歴史物語・作り物語		古典常識② 身分制度・建築・衣類・調度・宗教		
後期						
第Ⅰターム		第Ⅱターム		冬期講習	第Ⅲターム	
9月	10月	11月	12月		1月	
和歌① 句切れ・枕詞・序詞・掛詞①		和歌②、文学史② 句切れ・枕詞・序詞・係詞①			総まとめ演習	

※講座進度は予定です。受講者に合わせて授業を行うため変更する場合があります。

# 古典文法トレーニング



講座難易度



講座紹介

古典文法を前期、後期の各タームでテーマ別に演習する。前期は、用言の活用から助動詞まで、後期は助詞、識別を取り扱う。なお、敬語の詳細については、夏期講習で取り扱う予定。

前期						
第Ⅰターム		第Ⅱターム		第Ⅲターム		夏期講習
2月	3月	4月	5月	6月	7月	
【単元】 ① 用言の活用 ② 接続助詞 ③ 敬語の基本  文法を学習する理由を理解し、読解に取り組む前に必要な最低限の知識を確認する。		【単元】 ① 用言 ② 助動詞導入  古文読解に不可欠な助動詞を学習するにあたり、導入となる用言を徹底し、スムーズな助動詞の理解を目指す。		【単元】 助動詞  徹底的に演習することで古文読解の中心になる助動詞の定着を図る。		
後期						
第Ⅰターム		第Ⅱターム		冬期講習	第Ⅲターム	
9月	10月	11月	12月		1月	
【単元】 ① 助詞 ② 用言・助動詞復習  知っている言葉ばかり、即得点に直結する助詞の学習、次タームの識別学習に向けた用言・助動詞の復習をする。		【単元】 識別Ⅰ  識別を徹底演習することで文法を読解に活用する方法を身につける。			【単元】 識別Ⅱ  識別を徹底演習することで文法を読解に活用する方法を身につける。	

※講座進度は予定です。受講者に合わせて授業を行うため変更する場合があります。